

宮城県感染症発生動向調査情報(第5週)

宮城県【平成26年02月06日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2014.1.27 ~ 2.2 ・ 第5週 —

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所						仙台市					宮城県(含む仙台市)				
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第2週	第3週	第4週	第5週		
水痘	15 3.00	5 0.50	8 1.60	5 2.50		4 0.80	2 1.00	14 0.54	53 0.91	314	◎→	◎→	◎→	◎		
流行性耳下腺炎		1 0.10	1 0.20		1 0.33	1 0.20	2 1.00	4 0.15	10 0.17	69	→	→	→			
百日咳											→	→	→			
感染性胃腸炎	98 17.60	130 13.00	42 8.40	36 18.00	44 14.67	36 7.20	18 9.00	363 13.96	757 13.05	3,550	◎→	◎→	◎→	◎		
手足口病								2 0.08	2 0.03	9	→	→	→			
伝染性紅斑	3 0.60	9 0.90		3 1.50		3 0.60		27 1.04	45 0.78	189	○→	○→	○→	○		
突発性発しん	3 0.60	2 0.20	3 0.60	1 0.50	2 0.67	2 0.40		20 0.77	33 0.57	150	○→	○→	○→	○		
ヘルパンギーナ											→	→	→			
インフルエンザ	111 13.88	154 10.27	178 22.25	29 9.67	67 13.40	201 25.13	79 19.75	748 17.81	1567 16.85	3,485	◎→	◎→	◎→	◎		
咽頭結膜熱		1 0.10		2 1.00		1 0.20		7 0.27	11 0.19	47	→	→	→			
流行性角結膜炎								1 0.17	1 0.08	4	→	→	→			
急性出血性結膜炎											→	→				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19 3.80	40 4.00	12 2.40	20 10.00	3 1.00	22 4.40		53 2.04	169 2.91	644	○→	◎→	◎→	◎		
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)								1 0.20	1 0.08	1	→	→	→			
無菌性髄膜炎											→	→	→			
マイコプラズマ肺炎		1 1.00	3 3.00				2 2.00		6 0.50	32	→	→	→			
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→			
RSウイルス感染症	4 0.80	7 0.70		1 0.50				6 0.23	18 0.31	121	○→	○→	○→	レ		
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	2					1	2	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向							
	川崎病															
	不明発疹症							3								
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※				1 1.00				7 0.08							

※

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群	0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)	80歳~ (%)	総数 (人)
2013年 第52週		28.6	50.0	3.6	0.0	0.0	3.6	10.7	0.0	3.6	0.0	0.0	28
2014年 第1週		7.8	15.6	15.6	7.8	10.9	17.2	12.5	9.4	3.1	0.0	0.0	64
第2週		20.2	21.0	14.4	6.2	7.8	12.3	7.8	4.5	2.5	2.5	0.8	243
第3週		22.7	28.7	13.6	3.6	5.6	9.6	7.3	5.1	2.4	1.3	0.2	551
第4週		19.7	36.8	16.0	2.7	4.1	8.3	4.8	4.1	2.1	0.8	0.7	1,060
第5週		20.1	36.3	16.9	2.7	5.1	7.5	4.6	3.1	2.6	0.6	0.5	1,567

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第3週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)
インフルエンザ: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(36.74)、宮城県(19.58)、岐阜県(19.13)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は515例と前週と比較して増加した。都道府県別では45都道府県から報告があり、年齢別では0歳(51例)、1~9歳(162例)、10代(19例)、20代(9例)、30代(11例)、40代(17例)、50代(30例)、60代(48例)、70代(76例)、80歳以上(92例)であった。**RSウイルス感染症**: 報告数は1,987例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は新潟県(4.02)、山形県(3.77)、福岡県(3.00)である。**感染性胃腸炎**: 報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(21.97)、山形県(15.47)、高知県(15.43)である。**マイコプラズマ肺炎**: 報告数は減少した。都道府県別の上位3位は富山県(1.00)、岐阜県(0.80)、青森県(0.67)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 3週連続で増加した。都道府県別では23都道府県から41例報告があり、年齢別では0歳(13例)、1~4歳(21例)、5~9歳(5例)、40代(1例)、70歳以上(1例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。
 ()内の数字は定点当たり報告数となります。

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 塩釜管内 男性1名
 - 気仙沼管内 男性1名
 - 仙台管内 男性2名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O111)
 - 石巻管内 女性1名(第4週)
- 4類感染症: A型肝炎
 - 仙台管内 男性1名
- 5類感染症: 慢性的肺炎球菌感染症
 - 仙台管内 男児*1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 16例

今週の感染症のコメント — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[インフルエンザ]
 仙南、大崎、登米、石巻、気仙沼、仙台管内で注意報継続中。
 塩釜管内で注意報値を超えた。
まだ警報値を超えた保健所管内はないが、急増中であり十分な注意が必要である。
 [感染性胃腸炎]
 登米管内で警報継続中。
 [A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
 栗原管内で警報継続中。

- 【病原体検出情報】**
 ~宮城県保健環境センター~
 インフルエンザ集団発生事例より
 気仙沼管内 第4週採取分 インフルエンザウイルスB 遺伝子 2件
 仙南管内 第5週採取分 インフルエンザウイルスB 遺伝子 1件
 インフルエンザ患者より
 石巻管内 第4週採取分 インフルエンザウイルスAH1pdm 遺伝子 6件
 インフルエンザウイルスAH3 遺伝子 1件
 インフルエンザウイルスB 遺伝子 2件
 気仙沼管内 第4週採取分 インフルエンザウイルスAH1pdm遺伝子 1件
 インフルエンザウイルスB 遺伝子 1件
 仙南管内 第5週採取分 インフルエンザウイルスAH1pdm 遺伝子 1件
 インフルエンザウイルスAH3 遺伝子 1件
 感染性胃腸炎集団発生事例より
 塩釜管内 第5週採取分 ノロウイルスG II 4件
 第5週採取分 ノロウイルスG I 1件、ノロウイルスG II 1件
 感染性胃腸炎患者より
 塩釜管内 第2週採取分 ノロウイルスG II 2件
 第2週採取分 カンピロバクター 1件
 第3週採取分 ノロウイルスG II 1件
 第4週採取分 ノロウイルスG II 1件

~仙台医療センターウイルスセンター~

- 第3週採取分 第4週採取分 第5週採取分
 (1.13~1.19) (1.20~1.26) (1.27~2.2)
- インフルエンザウイルスB 1件 0件
 - インフルエンザウイルス(解析中) 0件 1件 11件
 - RSウイルス 3件 1件 0件
 - エンテロウイルス 1件 0件 0件
 - サイトメガロウイルス 0件 1件 0件

[感染性胃腸炎]
 県全体では減少傾向にあるが、依然として集団発生事例が多く、患者からもノロウイルスが検出されているため、今後も引き続き注意を要する。